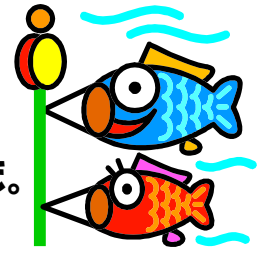
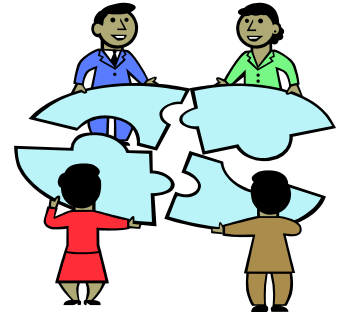


桜の季節も過ぎ、初夏へと向かっていますが、まだ日によっては温度差がありますね。体調管理には十分ご注意ください。情報量が増えてきたため、今回から本文の文字の大きさを少し小さくしてみました。いかがでしょうか？



広げよう！コミュニケーションの輪！

ちょっと古いキャッチコピーですが…。おかげさまで職員同窓会も6年目を迎え、多くの方にご参加いただくと共に、会員の皆さん同士の連絡も少しずつ活発になってきました。事務局がご提案する企画だけでなく、皆さんご自身が様々な場面で自主的に、楽しく活動していただくことが今後の活性化の鍵になると思います。そこで、今回は同窓会を取り巻くコミュニケーション情報からどうぞ。

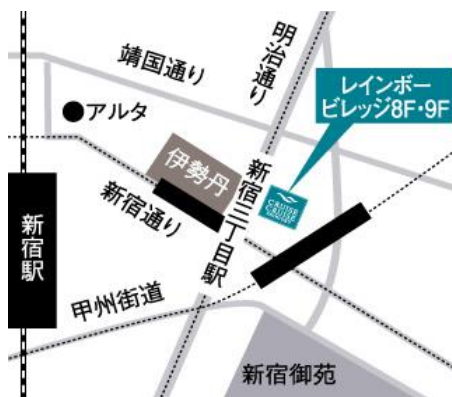


第6回総会改め「大懇親会」開催決定！

11月16日(土) 新宿にて開催！

毎年11月に開催しています「同窓会総会」も今年6回目を迎えることになりました。今年度は名称を「大懇親会」と改め、同窓生の皆様が久々に集い、食事や会話を楽しんでいただく「会員相互の親睦」をテーマに準備を進めています。会場も3回連続して開催しました「原宿レストランベニーレベニーレ」から「クルーズ・クルーズ新宿」に移し、お料理も和洋取り揃えて更に充実した内容となりますのでご期待ください。同期・先輩・後輩と、年代や昔の役職を越えた“ヤマハの仲間”との再会、親睦を深めましょう！まずは今からスケジュールを調整していただき、ぜひご参加ください。

【日時】 11月16日(土) 開場/11:30 開宴/12:00 (終宴予定/14:00)
【会場】 クルーズ・クルーズ新宿
【参加費】 お一人様 6,000円



地下鉄 東京メトロ/丸の内線・副都心線・都営新宿線
「新宿三丁目駅」より徒歩1分(E4出口直結)
JR線 「新宿駅」東口より徒歩5分



東日本ヤマハOB会ホームページのご案内

東日本ヤマハOB会アドレス <http://job-tky.net/>

最も身近な仲間として同窓会に支援いただいている「東日本ヤマハOB会」のホームページに、この同窓会通信をはじめ皆さんのお役に立つ情報が掲載されることになりました。同窓会通信では時期を逸してしまう可能性のあるお知らせや、皆さんに参加していただける同好会のご案内など、有意義な情報を提供できるよう努めて行きますので、これまでご覧になっていない方もぜひチェックしてみてください！上記のアドレスを直接入力していただくか「東日本ヤマハOB会」で検索すればご覧いただけます。また3ページでは皆さんにも参加していただける東日本ヤマハOB会の同好会をご紹介します。

以前からお知らせしていますが、皆さんからのご連絡を頂戴するため、下記のGmailを開設しています。事務局で定期的にチェックしていますので、日々の様子やご意見、ご提案など、いつでもお寄せ下さい。

同窓会の会員を増やしましょう！

1966年（昭和41年）に設立された財団法人ヤマハ音楽振興会は、音楽教室、各種の音楽コンテスト、音楽祭、出版活動などを通して日本の音楽界に新しい波を起してきましたが、それらの活動を支えてきたのがOB、OGの皆さん方で、その人数は既に1,000人を超えており、この新しい音楽の歴史を担った人たちが「お互いの絆を深めネットワークを拡げて行きたい」というのが財団職員同窓会の趣旨です。

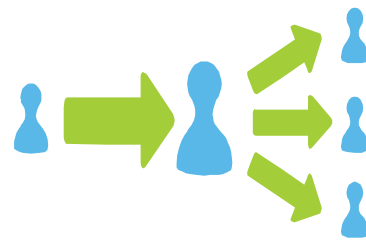
定年まで勤務された方はもちろん、短期間で退職された方、職場も音楽教室部門、ポピュラー部門、出版部門、総務部門、支部、センターなど、異なった分野で活躍された方々が、男女・年齢・職制に関係なく「同窓生として集う」というのは他の会社・職場では珍しいことであり、事務局としてはメンバーの一員であることに誇りと喜びを持っていただけるような会にしたいと考えています。

現在、同窓会に参加されている方は東京を中心に約300名で、未だ数百名の方が未参加ですが、その理由としては…

- ◆ 同窓会があることを知らない
- ◆ 加入手続きが判らない（連絡が来ない）
- ◆ 地方に住んでいて参加出来ない（しない）
- ◆ あれこれの思いで加入しない

などが考えられます。皆さんのお知り合いの方で、このような方がいらっしゃいませんか？

ぜひ一度、皆さんの周囲のお友だち・お知り合いと連絡を取っていただき、そういう方がいらっしゃった場合は同窓会への入会を勧めていただきたくお願いします。ご協力よろしくお願ひ致します。（荒井）



同好会レポート テニス部も合宿の開催など順調に活動していますが、詳細は次号でお知らせします。

ゴルフ同好会

第20回財団ヤマハOBゴルフ親睦会レポート

2013年最初の財団ヤマハゴルフコンペが4月16日東富士カントリークラブにて開催されました。

当日は絶好のゴルフ日和で、咲き誇る山桜と雪を冠した富士山を楽しみながらの一日となりました。

今回は5組17名（内女性5名）のご参加をいただき、昨年と同じく「ハンデキャップ戦」に加え「新々ペリア戦」も併用しての競技となりました。

競技結果ですが、ハンデキャップ戦は岸 昭さんがGROSS：93、HDCCP：26、NET：67で優勝されました。

また、新々ペリア戦では大屋 洵さんがGROSS：95、HDCCP：30.4、NET：64.6で優勝されました。

各賞は右記のとおりです。

またニアピン賞は…

- 4H・8H 雑賀辰雄さん
- 12H 大塚精治さん
- 17H 田中重徳さん

の皆さんでした。

HDCCP 戦	プレイヤー	GROSS(OUT/IN)	HDCCP	NET
優勝	岸 昭	93(48/45)	26.0	67.0
準優勝	市川裕美	108(53/55)	36.0	72.0
3位	烏野隆弘	94(47/47)	20.0	74.0

新々ペリア戦	プレイヤー	GROSS(OUT/IN)	HDCCP	NET
優勝	大屋 洵	95(49/46)	30.4	64.6
準優勝	田中重徳	90(40/50)	22.4	67.6
3位	岸 昭	93(48/45)	24.0	69.0

参加者のプレイ前ショット



次回は、7月26日(金)に箆坂ゴルフコースを予定しています。初心者からベテランまで、どなたでも気楽に楽しめるコンペですので

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

お問い合わせ・お申し込みは下記までお気軽にどうぞ！

ゴルフ同好会事務局 烏野隆弘

unofamily@jcom.home.ne.jp

携帯電話/090-3212-7302



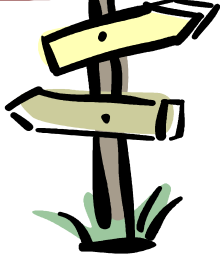
東日本ヤマハO B会の同好会に参加しませんか？

既に参加されている方もいらっしゃいますが「東日本ヤマハO B会」には様々な同好会があり、同会のご好意により財団同窓会のメンバーも参加できるようになっています。

参加された方々に会うと「毎回大歓迎して下さい！」とのことですし、同じヤマハに務めていた仲間同士、もしかしたら“超久しぶり”の再会があるかもしれません。

メニューは以下のとおりですが、お好みの活動を選んで気軽に参加してみませんか？

東日本ヤマハO B会 同好会のご案内



- ♪ 囲碁
- ♪ 温泉旅行
- ♪ 絵画鑑賞
- ♪ カラオケ
- ♪ 健康マージャン
- ♪ ゴルフ
- ♪ 四季遊覧
- ♪ シニアアンサンブル
- ♪ 写真
- ♪ 将棋
- ♪ テニス
- ♪ ハイキング
- ♪ 俳句
- ♪ バードウォッチング
- ♪ パソコン
- ♪ ボウリング

これらの同好会活動の詳細や活動の様などは、冒頭の「東日本ヤマハO B会」ホームページに掲載されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

参加ご希望の方、お問い合わせは…

東日本ヤマハO B会窓口 岸 昭

a.kishi@yac-rfm.co.jp

携帯電話/080-5543-6190

但し、ゴルフ同好会（窓口/烏野隆弘）とテニス同好会（窓口/西岡 晃）については、各々窓口担当者に直接どうぞ！

事務局からのお願い

ご紹介した東日本ヤマハO B会の同好会、既に活動しているゴルフ、テニス以外にも、事務局では同窓会としての新しい同好会や趣味の集い、気の合う仲間同士の会など、皆さんご自身が中心になって新たな親睦の場が誕生することを願っています。

以前の通信でもご紹介した「各支部単位の会合」や「同窓生が開いているお店訪問」など、全国各地で世代を超えた財団同窓生の皆さんで連絡を取り合ってください、懐かしい笑顔の写真など情報をどんどんお寄せ下さい！



同窓会会員トピックス

ここでは、同窓会会員の皆さんの活躍ぶりや活動へのお誘いなどを紹介します。

見事に受賞しました！

烏野隆弘さんが所属している吹奏楽団が準グランプリを受賞しました！

2月3日、東京/文京シビックホールで「吹奏楽による第1回ジャズ・ポップスコンテスト全国大会」（主催/同大会実行委員会・公益財団法人文京アカデミー）が開催され、同窓会事務局メンバーでゴルフ同好会窓口も務めている烏野隆弘さんが所属する「三鷹市吹奏楽団」が、金賞および準グランプリ賞を受賞しました。

この大会には全国の高校生から社会人まで18団体が出場し、三鷹市吹奏楽団は課題曲「黒いオルフェ」と、自由曲「The Musician」を演奏。審査委員長の作曲家・真島俊夫氏ほかプロの演奏家の多角的な審査の結果の見事な受賞でした。

烏野さんは、「ヤマハライトミュージックコンテスト以来の出場でしたが、緊張しながらも楽しめました。

正直信じられない受賞でしたが、POP CONなどコンテストを運営する側から出場する側に戻ってみて、コンテストもアマチュアがアンサンブルを楽しむひとつの目標になっていると改めて思いました。」と感想を語ってくれました。

因みに、この吹奏楽団の定期演奏会が6月16日（日）に三鷹市公会堂で開催（開場13：30/開演14：00）されますので、ぜひお出かけ下さい。烏野さんの今後の益々の活躍をお祈りします。（石原）



コンテストの様子は http://www.city.mitaka.tokyo.jp/c_photo/037/037662.html
または <http://www.jazz-pops-contest.com/> でご覧いただけます。

6月16日の定期演奏会観賞ご希望の方は烏野さんまで直接ご連絡下さい。

烏野隆弘 unofamily@jcom.home.ne.jp 携帯電話/090-3212-7302

ヤマハ音楽教室ボーカル部門には「ゴスペルコース」があり、多くの生徒さんが在籍していますが、新宿にある教室では3つのクラスが集まり「ゴスペル東京」として、14年前から毎年チャリティーコンサートを開いています。

全て手作りの自主公演としてメンバーの参加費のみで運営し、必要経費以外は6つの福祉団体に寄付しています。

今回も日本のゴスペルブームの火付け役のひとり、淡野保昌先生の編曲・指導・指揮と様々なグループのバックで活躍中のキーボーディスト鳩野信二先生の伴奏で、日本の曲も含めていろいろなゴスペルソングを歌います。

歌う本人も元気が出ますが「興味あり!」とおっしゃる方はぜひ観賞にお越し下さい!

観賞ご希望の方は メンバー代表/石井ふみ子 gospeltokyo@gmail.com までどうぞ!

キエフからお久しぶりです!

キエフ在住の佐藤(旧姓/荒井)香子さんからのお便りです

財団に在職したのは6年。

その後留学を経て他社で勤めましたが、財団での経験がどこにいても生きておりました。

今は主人の転勤に伴い、3歳半になる息子と共にウクライナの首都キエフにおります。

3度目となる今年の冬は昨年の-27度の記録達成ならず。この通信が出る頃にはキエフも春です。

日本の桜が恋しい時期ですが、春夏のキエフの様子も非常に美しく、金ピカのタマネギ坊主の教会や緑々としたマロニエの木々。夏は35度~40度位になりますが、カラッとして日本より過ごしやすく白夜も楽しむこともできます。

また、人々は子供に優しく、薄着をさせていると通りすがりの見知らぬおばちゃんに叱られることもあります。(笑)「子供は風の子」と言われる日本とは逆ですね。

有名な話ですが、女性は美人さんが多いです。

ブログで日々の様子を綴っておりますので、ご興味あれば覗いてみてください。

また、機会があればぜひ“来ウク”お待ちしております。

佐藤さんのブログは alijie.exblog.jp でご覧になれます。



これからも歌人生を楽しみます!

佐藤金一さんから、こんなお便りをいただきました!



財団を定年退職して20年近くになりますが、現在もヤマハ札幌センターで合唱講座・発声講座の指導を続けています。

函館で中学校の教員をしていた私が、幼児科担当指導講師としてヤマハの世界に入ったのが昭和42年でした。

以後、北海道を皮切りに全国各地を転々とし、指導業務を中心としたヤマハの音楽普及業務に携わりましたが、50歳半ばにして北海道に戻った翌年、社命により指導から運営業務に変わりました。

それを機に、YOC普及業務を担当する傍ら、函館時代の歌の教え子や仲間らに声をかけてコンサートを函館の地「金森ホール」で行うことを決心。

名称を「佐藤金一と仲間たちによるサマーコンサート」として始まったのが1990年8月のことです。

私の出番は30分程度のステージですが、21回まで休みなく続けました。

当初は、高校時代からの喉自慢の延長で歌っていましたが、60歳を過ぎるとさすがに喉に負担がかかり、長時間歌うことが苦痛になってくる…。

それを克服するには、発声器官の筋肉の使い方の工夫と鍛錬が必要であることに気づいて解決するヒントの数々を発声講座に通う生徒の指導の中から発見することができました。

歌うことが苦手だった方、高齢になってから歌を始めた方たちの悩みの解消が、私自身にとっても「響かせて歌う声づくり」の参考になったのです。まさに「教えることは学ぶこと」を身をもって体験しました。

お蔭でコンサートの後半には高音も楽に声が出るようになり、歌うことの楽しさが増してきました。

素晴らしい音楽仲間たちとの21年間は、たくさんの勇気と励ましをいただきました。「継続は力なり」の言葉は、そのまま私の人生のあり様を教えてくれるものであり、更に力強く生きていく上での生命力を与えてくれました。

2年前に癌手術を受けた私にとりましては、改めて元気であることの幸せをしみじみ感じたものであります。

特に、高校3年の時より60年間も休むことなく伴奏をしてくれた妻には、深く、深く、心より感謝です。

これからも出来るだけ長く、歌人生を楽しんでいこうと思っています。

